

シクロスルファムロン・ベンゾビスクロン・ペントキサゾン粒剤 半蔵1キロ粒剤	取扱メーカー： O A T 原体メーカー： B A S F, エス・ディー・エス, 科研製薬
成分： シクロスルファムロン〔スルホニルウレア系〕…0.50% ベンゾビスクロン〔ビスクロオクタン系〕……………2.0% ペントキサゾン〔オキサゾリジンジオン系〕……………3.9%	性状： 類白色細粒 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- スルホニルウレア抵抗性雑草にも安定した効果を発揮する。
- 田植機にアタッチメントを取り付ける事で、除草作業を軽減する移植時処理が可能な除草剤である。また、通常の粒剤として移植後の散布も可能である。
- 有効成分の特性から土壌表層に安定した処理層を作る事で効果の変動が少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 雑草の発生前からノビエの1.5葉期まで有効なので、時期を失しないように散布する。
- 未熟有機物を施用した場合は特に整地、代かきを丁寧に行う。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期
ホタルイ	2葉期まで
ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始まで
ヒルムシロ	発生期まで
シズイ	草丈3cmまで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前

- 共通注意事項の5．水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 田植同時期に施用する場合は、通常の移植作業と同様に落水下で田植えと施用を行い、施用後に入水する。処理後は通常の湛水状態（水深3～5cm程度）を保ち、田面を露出させたり、水をきらしたりしないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- 苗が水没するような深水状態では、葉鞘部に軽い褐変症状が出るおそれがあるので、水管理に注意する。
- 共通注意事項の5．水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 適用作物（水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（れんこん、くわい、いぐさ、せり）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- いぐさ栽培予定水田では使用しない。

【安全対策上の注意】……………

- 藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。

【適用と使用法】

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	一年生雑草 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類に よる表層はく離	移植時	1 kg	田植同時散 布機で施用	1 回 ※
		移植直後～ ノビエ 1.5 葉期 但し、移植後 30 日まで			
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	稲 1 葉期～ ノビエ 1.5 葉期 但し、収穫 90 日前まで		湛水散布	

※シクロスルフアムロンを含む農薬の総使用回数：2 回以内

※ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数 ：3 回以内

※ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数 ：2 回以内